

社教連会報

発行 社団法人 全国社会教育委員連合

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-2-3
国立教育会館内 TEL 03-3580-0608

「心の教育」と

社会教育の出番

全国社会教育委員連合会長

鈴木 勲

鈴木 勲（すずき いさお）

元 文化庁長官 国立教育研究所長
日本育英会理事
現 (財)文化財建造物保存技術協会会長
(社)日本弘道会会長 東京都
社会教育委員の会議議長



現在、我が国では、教育改革が進められており、一〇年ぶりの教育課程の改正も行われ、二一世紀の教育に向けて始動している。

小淵首相も第一四五国会における施政方針演説で、国政運営の基本として「五つの架け橋」を掲げ、「未来への架け橋」では「心の教育」を充実させたいと教育改革に力を注ぐ決意を述べている。

制度や教育内容の改革も大事だが、現下の我が国の社会・教育の状況からみて、最も重要な課題は「心の教育」をいかにして実現していくかであろう。

中央教育審議会は、「心の教育」

についての答申において、家庭教育の在り方が最も問題であるとして、具体的な提言をしている。その九〇項目に及ぶ提言を私なりに集約すれば、子供の徳性をいかに養うかに尽きる。

明治の道徳思想家西村茂樹は、「国民訓」において「家倫」の一項を設け、儒教では欠けている「父母たるの道」を掲げているが、その一つに「兒子の徳性を養成すること」を挙げている。

学校教育では、学習指導要領の「道徳」において「父母・祖父母を敬愛すること」を挙げている。その指導の実態と効果は問題であるとし

ても、「子たるの道」は小・中学校を通じて指導することになっている。しかし、「父母たるの道」は学習指導要領の範囲外である。これは広い意味の社会教育の領域であろう。最近の学校の取組みの中には、「家庭教育目標」をPTAと共同で作成し、家庭や地域を通じて「心の教育」を実践しようとする試みなどがみられる。

中央教育審議会の「心の教育」の提言を実効あらしめるのは、家庭教育、社会教育を担う社会教育団体の役割でなければならない。

まさに、社会教育の出番である。

第四〇回(平成一〇年度)全国社会教育研究大会(岐阜大会)を終えて

岐阜県社会教育委員連絡協議会 会長 辻 欣一

全国各地から二六〇〇名を越える社会教育関係者の方々を、鶺鴒飼有名な岐阜市にお迎えして、第四〇回全国社会教育研究大会(岐阜大会)が、一〇月二一日から二三日まで開催されました。

初日は、あいにくの小雨模様で足元も悪く心配をしましたが、日本のまん真ん中で地理的にも参加しやすということもあり、二〇〇〇名収容の長良川国際会議場のメインホールも埋め尽くされ、一部の参加者の方には二部屋に設置したテレビモニターで開会行事に臨んでいただくことになりました。



アトラクション(長良川の鶺鴒の実演)

今年は、九月に生涯学習審議会の答申が出された意義深い年であります。

開会行事の中で、全国社会教育委員連合の鈴木勲会長が、「新しく出された答申の趣旨を尊重して、今後一層、我々の職務に精励してまいりたい」と、力強く話されたのが印象的でありました。

このあと、長年にわたり社会教育の振興に功績のあつた七一名の方々の表彰がありました。受賞者に対して、万雷の拍手が贈られました。

引き続き行われたシンポジウムは、「急激な社会の変容に対応する社会教育の在り方を考える」というテーマで来たるべき未来社会の「教育」はどうあるべきなのか、「社会教育」は何ができるのかについて、論議が交わされました。

第二日目は、一〇部会に分かれて研究討議が行われました。

各部会とも積極的に事例や課題が提案され、終日熱心な討議が続けら

れました。

特に今回特筆すべきことは、第二部会の盛況でした。

第二部会は、「家庭教育・青少年教育」ですが、例年のように三〇〇名の会場を準備しましたが、六〇〇名を越す参加希望があり、急遽メインホールに会場を変更して対応しました。

この部会では、今こそ青少年を含めた人づくりまちづくりを、家庭や地域が一体となつてすすめることの重要性が指摘され、「ボランティア活動によるまちづくり」に取り組んだ。すばらしい実践が発表されました。

第三日目は、岐阜大学名誉教授、中部女子短期大学副学長 和田吉弘先生から「アユの生態からみた人間社会」と題して、ユーモアと示唆に富んだ楽しい記念講演を拝聴しました。

大会の締めくくりとして、「人権教育の推進」「男女共同参画社会の

形成促進」「青少年教育の充実」「関係機関の組織づくり指導体制の確立」「ボランティア活動の振興」の五項目を内容とする大会宣言を決議し一層の努力を誓い合いました。

本大会では、岐阜大学の地域科学部の延べ四〇名の学生が、大会支援に進んで参加し貴重な社会教育実習をしていました。

岐阜駅での案内、各部会での受付や質疑応答のマイクの世話等大活躍をしました。

「全国の参加者の方々と気持ちのよい挨拶ができて良かった。是非このような機会があれば参加したい」という嬉しい声が寄せられました。

この全国大会・岐阜大会開催が決定されて以来、全国の参加者の皆様に温かくお迎えするために、関係者一丸となって準備し運営にあたってきましたが、何かと不行き届きの点がありましたことを衷心からお詫び申し上げます。

第41回(平成11年度) 全国社会教育研究大会〔米子大会〕のご案内

大会の概要

1. 大会スローガン 環日本海新時代、とっとりから夢発信。翔けマナビスト!
2. 研究主題 21世紀へつなぐ生涯学習社会の構築をめざして
3. 期 日 平成11年10月13日(水)～15日(金)[3日間]
4. 主会場 米子コンベンションセンター
5. 大会日程

〔第1日〕10月13日(水)	●開会行事	13:00～14:00	
	●シンポジウム	14:00～15:45	
			テーマ「時代の要請にこたえる社会教育の在り方を考える」
	●アトラクション	15:45～16:45	
〔第2日〕10月14日(木)	●部会別研究協議	10:00～15:00	(10部会)
〔第3日〕10月15日(金)	●記念講演	10:00～11:30	
			「日本の教育を考える」 講師 東京大学名誉教授 宇沢弘文氏
	●大会宣言文決議	11:30～11:40	
	●閉会行事	11:40～12:00	

大会の特徴

第1日のシンポジウムでは、21世紀へ向けて社会教育をどのように推進していくのか、財政状況の悪化、地方分権などを踏まえて、今後の社会教育行政の在り方について迫ります。

第2日の部会別研究協議は、「心の教育」の具体的な取組を目指して、「家庭・地域社会・学校の連携強化」、「家庭教育の充実」、「青少年の学校外活動の推進」など、子供の教育に関する部会を充実しました。

第3日の記念講演は、鳥取県米子市出身で世界を見てきた経済学者の東京大学名誉教授 宇沢弘文氏をお願いいたしました。

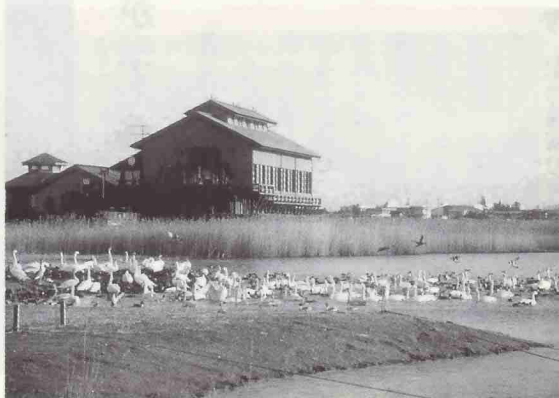
開催地米子市「山陰の表玄関」

米子市は、東に秀峰大山、北に紺碧の日本海を臨み、西には水鳥の楽園・中海、さらには、白砂青松の弓ヶ浜海岸など豊かな観光資源に恵まれ、古くから商都として栄え、山陰の文化経済の中心です。また、近くには、海といで湯と美味しい料理、ゆったりくつろげる山陰屈指の名湯「皆生温泉」、日本最大のフラワーパーク「とっとり花回廊」など観光スポットがたくさんあります。米子空港から車で約25分、各部会も徒歩で移動できます。是非、大会へお出かけくださるよう、ご案内申し上げます。

鳥取県社会教育委員連絡協議会

会長 永田 卓夫

この大会は、平成11年度中国・四国地区
社会教育研究大会と兼ねて開催されます。



米子水鳥公園の中心施設ネイチャーセンター
水鳥の観察や野鳥の生態が学習できます

平成10年度 各地区社会教育研究大会の報告

北海道地区（千歳大会）

社会教育委員の新たな役割を再確認

第三八回北海道社会教育研究大会は、「自然美の支笏国立公園」と「北の玄関 新千歳空港」を擁する千歳市を会場として、十月八日、九日に開催致しました。



参加者の出足よく受付大奮闘

積・系統化を図った大会の初年度です。

具体的には「生きる力を育む社会教育委員の新たな役割」と掲げ、「新たな」という文言を入れることによって、社会教育委員の責務を再確認しました。

基調講演は文部省社会教育官結城光男氏をお招きして、社会教育行政の現状を拝聴。記念講演は地元の子童文学作家松居友氏より、「子どもの生き方」を別の世界から語っていただき大変な共感を得ました。また、六部会構成による分科会では、「社会教育委員の関わり」が話題となり、まちづくりに果たす社会教育委員の役割の大きさを認識。

表彰台の喜びの声を活字に残す配慮や石狩管内の一村一品紹介と抽選会など、大会事務局の心暖まる運営が七二〇余名の心を打った画期的大会でした。

北海道社会教育委員連絡協議会

事務局長 黒崎 匡俊

東北地区（山形大会）

社会教育委員自らが学ぶ意欲を

「生涯学習社会における社会教育の役割を考える」の研究主題のもとに、平成一〇年度の東北地区社会教育研究大会は、九月二四・二五日に、山形県天童市において開催された。

永年の社会教育への貢献を称えられた東北六県一八名の表彰者を代表して山形県長井市の水野多聞社会教育委員は、来し方の感慨に勝る行く末二一世紀の社会教育への新たな決意を述べられて、なお

若々しい。

今年度から山形県社教連会長に就かれると同時に東北大会を主催することになった佐藤三男治実行委員長は、社教委員自らが学ぶ意欲をかきたてお互いの資質の向上こそがこれからの生涯学習社会推進の要諦である、との檄を響かせている。

記念講演の村山士郎先生は、子どもたちの憂うべき現状を具体例に即して分析し、現在の能力だけを評価する閉塞した発達観からの脱却・転換を強調し、子どものみならず大人にとっても心地よい時間を、と問う。

ほのぼのとした交流会、熱氣溢れる分科会等々。就中、七〇〇余名の参加者によって盛會裡に終了した大会を今に甦らせるのは、アトラクションの子どものための澁刺とした演奏に來世紀の曙光を見た感動である。

山形県社会教育委員連絡協議会

事務局 春山 進



アトラクション 子どもたちの澁刺とした演奏

関東甲信越静地区 (埼玉大会)

二日間にわたった充実した分科会

秋の気配を感じ始める秩父の地で、「平成一〇年度関東甲信越静社会教育研究大会」が秩父宮記念市民会館を会場に、九月二一・二二日の二日間にわたり、大勢の皆様に参加を得て開催されました。

この大会では、「充実した人生を築く生涯学習社会づくりに果たす社会教育委員の役割」を研究主題といたしました。

基調講演では、東京家政大学・同大学院教授、伊藤俊夫先生に、「生涯学習社会づくりに果たす社会教育委員の役割」と題して御講演いただき、生涯学習の理念や社会教育委員が何をすべきなのか、具体的に御指導いただきました。

この埼玉大会の特徴としては、分科会を二日間にわたって行い、研究討議の時間を充実させたことだと思います。

一 「生涯学習とまちづくり」
 二 「家庭教育・青少年教育」
 三 「男女共同参画社会」
 四 「高齢者教育」

五 「ボランティア活動」
 六 「国際理解教育」

以上の六分科会で、たくさんの方の御意見や御提言をいただきました。この成果を生かすため報告書を作成し、参加者の皆様に配付いたしました。



講演する伊藤俊夫先生

御参加いただきました皆様の今後の御活躍に御期待申し上げ、報告といたします。

埼玉県都市社会教育委員連絡協議会
 事務局 清水 政晃

近畿地区 (京都大会)

女性委員が元気に活躍

「近畿は一つ」を合言葉に伝統ある近畿地区社会教育研究大会も回を重ねること、三二回…と、小畑会長の開会挨拶から始まった本大会は、茶の里宇治市文化センターにおいて、「生涯学習社会に向けた社会教育の今日的な役割を探索」を研究主題として、近畿二府四県から一四〇〇余名の参加のもと、八月五〜六日開催されました。

アトラクションでは、「和太鼓サークル『渦』」「宇治朝霧コーラス」「宇治市立南部小学校金管バンド部」など地元宇治市内で日頃取り組まれている社会教育等の活動を三世代にわたって発表していただきました。

五つの分科会では、女性の社会教育委員さんを中心に、活発な研究協議がなされました。

そして記念講演では、さわやか福祉財団理事長の堀田力先生から「すこやかな子どもの成長を願って」と題して、大人がどのように

子ども達に関わっていくべきかを大変わかりやすく、ユーモアを交えながら示唆に富んだお話をうかがいました。

本大会の運営においては、社会教育委員の皆様御活躍により盛会のうちに終わることができました。

京都府社会教育委員連絡協議会
 事務局 井尻 利守



分科会風景

中国・四国地区（香川大会）

青少年教育のあり方をめぐり活発議論

第二回中国・四国地区社会教育研究大会が、九月一七・一八日の二日間にわたり高松市において、社会教育委員をはじめ、社会教育関係者約七〇〇名の参加を得て行われました。

研究主題を「二二世紀をめざした新たな社会教育活動のあり方をさぐる」とし、青少年の学校外活動や家庭教育の推進を、社会教育関係者としていかに支援していくかを中心に、シンポジウムにおいても、「豊かな感性や心を育むために、今、学校・家庭・地域でなすべきことは」をサブテーマとして熱心な討議が行われました。また、四つの分科会に別れての研究協議では、どの分科会とも多くの意見が出されました。特に青少年教育・地域教育の分科会では、三時間弱の分科会の時間が不足するほどでした。指導者の養成に関することや事業の評価に関する一ツ少年団、子ども会等の各種行



記念講演風景（講師 坂田智己氏）

事を含めて、間もなく実施されようとしている完全学校週五日制へ向けての学校外活動のあり方や、家庭教育のあり方を中心に熱心な協議が行われました。生涯学習社会構築へ向け、社会教育の果たす役割の重要性を再認識させる大会となりました。

香川県社会教育委員連絡協議会 事務局 三浦 弘

九州地区（宮崎大会）

地域の創造と社会教育をテーマに

宮崎県宮崎市で「第二九回九州地区社会教育研究大会」が平成一〇年一〇月八日・九日の二日間にわたり、九州・沖縄各県から社会教育委員をはじめ社会教育行政職員等約一二〇〇人が参加して、開催されました。

研究テーマ「地域の創造と社会教育の役割」

会場 県立芸術劇場、J A・A Z Mホール、宮日会館

第一日目・分科会 第一分科会「生涯学習の推進とまちづくり」

第二分科会「家庭・地域社会の教育力の育成」

第三分科会「社会教育関係団体の在り方」

第四分科会「人権・同和教育の推進」

第五分科会「環境教育の推進」

第二日目・全大会 アトラクション「能襲踊」能襲踊保存会

記念講演「地方の時代」三重県

総合文化センター総長 田畑 彦右衛門

初日の分科会では、各会場ともテーマに沿って、事例発表、質疑、研究協議が活発に行われました。

また、記念講演では、田畑先生が生涯学習とは地方らしさ、地方独特のものを大切にしながら楽しいことをすること、また、毎日が勉強であり感動することが大切であることを、ご本人の体験を交えながら話され、示唆と感銘を与えてくださいました。

宮崎県社会教育委員連絡協議会 事務局 久島 孝昭



初日 まず分科会

平成11年度各地区社会教育研究大会(準備状況・予定)

地区	開催地	期 日	会 場	研究主題	講 演 等	分 科 会
北海道地区	稚内市	11年 10月7日(木) ～8日(金)	稚内総合文化センター	生涯学習社会の実現をめざした社会教育の在り方～生きがいのある地域づくりに社会教育委員はどう関わるか～	記念講演 講師 中井広恵(女流棋士) 実践発表 犬ぞり大会とまちおこし 山本四朗(全国犬ぞり稚内大会事務局長)	6分科会(家庭教育/青少年教育/成人教育/高齢者教育/スポーツ活動/文化活動)
東北地区	福島県郡山市	11年 9月16日(木) ～17日(金)	磐梯グランドホテル	生涯学習社会における社会教育の役割を考える～自立と共生の考えに立つ地域社会の創造をめざして～	演題 生涯学習社会における社会教育の役割～子どもの生きる力を育む地域社会の創造(仮題) 講師 未定	5分科会(生涯学習の振興と社会教育指導者/学習機会の提供・学習相談/学社連携・融合/地域の活性化・まちづくり/国際理解・国際交流)
関東甲信越静岡地区	長野県長野市	11年 9月16日(木) ～17日(金)	長野市 ホテル国際21	21世紀を展望した生涯学習のあり方を考える	基調講演 演題未定 講師 岡本包治(長野県生涯学習推進センター所長) 記念講演 演題未定 講師 西田善夫(スポーツアナウンサー)(予定)	6分科会(生涯学習とまちづくり/家庭教育・青少年教育/人権と国際理解・交流/環境保全と地球理解/ボランティア/生涯スポーツ・文化活動)
東海北陸地区	福井県芦原町	11年 9月16日(木) ～17日(金)	芦原町 芦原観光会館	21世紀を担う社会教育の在り方を考える	記念講演 演題未定 講師 東 洋一(県立博物館総括学芸員)	7分科会(家庭教育/高齢者の社会活動/人権教育/青少年教育/生涯スポーツ/ボランティア活動/生涯学習まちづくり)
近畿地区	滋賀県大津市	11年 8月18日(水) ～19日(木)	大津市立大津市民会館・ピアザ淡海ほか	新たな時代に対応する社会教育のあり方を考える	記念講演 演題未定 講師 小林隆彰(比叡山延暦寺長職)	5分科会(生涯学習・まちづくり/青少年教育・家庭教育/人権尊重/成人教育・高齢者教育/ボランティア)
九州地区	大分県別府市	11年 9月30日(木) ～ 10月1日(金)	別府市 杉乃井ホテル	地方の時代を担う社会教育委員のあり方	未定	5分科会(社会教育委員の役割/地域社会・家庭づくり/人権教育・同和教育/社会教育団体/公民館等社会教育施設)

社教連のうごき

平成10年9月18日(会報43号発行)以降の、社教連のうごきをお知らせします。

○9月30日「社教情報NO39/特集・幼児期からの心の教育」(定価300円)を発行。評判よく、多数ご購入いただきました。

○平成10年度の全国・地区社会教育研究大会は、本紙に掲載のとおり、全国各地において盛大に開催されました。各開催県・市のみならず、ありがとうございました。

○10月21日、全国社会教育研究大会(岐阜大会)の初日のスケジュール終了後「平成10年度第2回総会」が、長良川国際会議場で開かれました。全社連正会員60名中58名(うち8名は委任状)の出席で総会は成立。次年度の大会(米子大会)および平成12年度の開催地区(関東甲信越静岡地区 開催県は栃木県)について、満場一致で決定しました。

○11月1日から10日まで「第24回ヨーロッパ社会教育視察団」の団員14名が、デンマーク(コペンハーゲン)―オーストリア(ウィーン)―ドイツ(フランクフルト)―フランス

(パリ)を訪問。レクチャーや施設の見学により各国の社会教育・社会福祉について、ハードだが充実した研修を実施しました。くわしくは、雑誌「社会教育」平成11年2月号をごらんください。なお、11年度の計画は、本紙8ページのとおりです。

○平成11年1月21日、「平成11年度全国・地区社会教育研究大会開催県担当者会議」を国立教育会館で開催。11年度の大会について、事務連絡と情報交換をおこないました。(上記大会準備状況参照)

○平成11年3月1日「社教情報NO40/特集・21世紀の社会教育の展開」(定価300円)を発行いたしました。ご購入をよろしく願います。

平成11年度第1回理事会・総会

平成11年5月14日(金)、ホテルフロラシオン青山において、「平成11年度第1回理事会および総会」を予定しております。

理事会 午前10時30分
総会 午後1時3分30分

TEL 03(3580)0608 事務局長 小林由美子

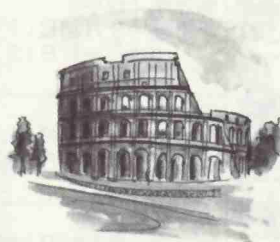
25周年記念 国際高齢者年記念 ヨーロッパ社会教育視察団参加者募集

(社)全国社会教育委員連合は昭和50年度から毎年、社会教育委員、教育委員、社会教育行政・社会教育関係団体等の方がたのために、ヨーロッパ諸国への社会教育視察団を編成し、派遣して参りました。平成11年度は「視察団派遣25周年」と「国際高齢者年」を記念して、下記の特別プログラムで実施いたします。ふるってご参加ください。

1. 主 催 (社)全国社会教育委員連合
2. 目 的 各地の社会教育施設を訪問し、高齢者の学習・社会参加の実態を視察する。また、福祉施設(特に高齢者向け)を訪問し、その活動状況を視察、さらに、各国の代表的な文化施設を見学する。
3. 期 間 平成11年11月10日(水)～11月20日(土) 11日間
4. 旅 程 東京(成田)→ロンドン(3泊)→ミラノ(1泊)→フィレンツェ(1泊)→ローマ(2泊)→パリ(2泊)→東京(成田)

5. 主な視察先

- ロンドン ・エイジ・コンサーン・イングランド
(高齢者福祉のために全国レベルで活躍している英国最大の機関)
- ・デイケアセンター
(エイジ・コンサーンが運営する地域の施設)
- ・クロイドン区成人教育センター
(成人教育のために独自のサービスを提供している地域センター)
- ・大英博物館ほか
- ローマ ・生涯教育センター
(高齢者を対象とした生涯教育の拠点)
- ・ローマ市立憩いの家
(高齢者の社交性・能力等の維持・回復などを目的とする老人ホーム)
- ・サンピエトロ寺院ほか
- パ リ ・コレージュ・ド・フランス
(生涯教育の機能を持つフランス文部省直轄の高等教育機関)
- ・パリ第12(クレテーユ)全世代大学
(高齢者を主体とし、学びたいすべての年代を対象としている)
- ・ルーブル美術館ほか
- ミラノ ・サンタマリア・デレ・グラツィエ教会ほか
- フィレンツェ ・ウフィッツィ美術館ほか



6. 参加経費 470,000円(全朝食付、ベテラン添乗員が全行程ご案内します。)社会教育委員の方には本会から20,000円の助成金があります。
7. 募集人員 25名(定員になり次第締め切ります。)
8. 募集締切 10月20日(水) 10月下旬都内にて事前説明会を予定。
9. 応募方法 はがきまたは電話で下記にお申し込み下さい。なおご請求下されば詳細資料をお送り致します。
10. 申込先 〒100-0013 東京都千代田区霞ヶ関3-2-3 国立教育会館内(社)全国社会教育委員連合 TEL: 03-3580-0608
11. 旅行業務 旅行に関する一切の業務は、近畿日本ツーリスト(株)虎の門海外旅行事業部が担当します。